

# 四日市市立橋北中学校 いじめ防止基本方針

(令和8年1月31日改訂)

## はじめに

健全な生徒の育成を目指すにあたり、いじめは、生徒の人権及び心身の健全な成長を著しくき損するものです。また、人格の形成に重大な影響を与えるばかりでなく、その生命及び心身に重大な危険を生じさせる恐れがあることに鑑み、本校では、四日市市いじめ防止基本方針に基づいて、学校の内外を問わず、いじめ防止のための対策を講じていきます。

## 1 学校におけるいじめ防止等に関する取組について

### (1) いじめに対する基本認識

- ① 生徒が苦痛を感じていればいじめと認識します。
- ② いじめは、決して許されない行為であり、重大な人権侵害です。
- ③ いじめは、どの生徒にも、どの学校にも、どの学級にも起こりえます。
- ④ いじめを受けている子どもの立場から親身になって指導を行わなければなりません。
- ⑤ いじめは、学校、家庭、社会、など全ての関係者が連携して取り組むべき問題です。

### (2) いじめの防止

- ① 学ぶ楽しさや充実感を味わえる「わかる授業」を行い、個別最適化された学習の充実を図る等、基礎・基本の確実な習得のためのきめ細かな指導を推進しています。
- ② 橋北中学校区学びの一体化の取組みの一環として、社会のルールを守り、学校のきまりや学習規律を守ることのできる規範意識の共通認識を図っています。
- ③ 集団生活を円滑に送るための「学校生活のきまり」を基本として、学級や学校をすべての生徒が安心・安全に生活できる場所にします。また、仲間とのつながりを大切に、行事等を通して、すべての生徒が共に高め合い、活躍できる場面を多くします。
- ④ いじめ防止について、道徳の年間指導計画に組み入れ、全教職員共通理解のもと推進します。

### (3) いじめ防止啓発

- ① 教職員自身のいじめに対する意識を見直すための研修会を実施します。
- ② 保護者にいじめに関するリーフレットなどを配付し、学校とともにいじめ問題について考える機会とします。地域の会議や授業参観時などを活用して、保護者や地域への啓発活動に努めていきます。
- ③ 生徒及び保護者に各種相談機関やアプリを周知します。

- ・ 「いじめや体罰等に関する相談電話 (354-8169)」 (教育委員会)
- ・ 「青少年と家庭の悩み相談電話 (352-4188)」 (こども未来課青少年育成室)
- ・ 「被害少年の悩み、問題行動等 (354-7867)」 (北勢少年サポートセンター)
- ・ 「人権に関する相談電話 (354-8610)」 (人権センター)
- ・ 「児童虐待、不登校、養育等 (347-2030)」 (北勢児童相談所)
- ・ 「文部科学省 24時こども SOS ダイアル (0120-0-78310)」 (全国共通ダイヤル)
- ・ 「いじめに関する相談アプリ」 (STANDBY)

- ④ インターネットやスマートフォン等を使ったネットいじめ対策をします。
  - ・ 情報モラル教育を道徳・技術科等の授業や総合的な学習の時間等で行います。
  - ・ 教職員が「メディアリテラシー」の研修会に積極的に参加します。
  - ・ 「インターネットやスマートフォン等の安全な使い方」等を保護者に啓発します。

### (4) いじめの早期発見

- ① いじめ等問題行動の発生しにくい、信頼で結ばれた人間関係のある学級・学年経営を行うとともに、教職員が日常的に生徒との対話やタブレット端末での「健康観察」や「こころの天気」を活用し、生徒の変化やサインを察知します。
- ② 生徒に、毎学期「いじめ調査」や、「学級満足度調査 (QU調査)」を実施し、一人ひとりの状況及び学級の状況を把握しています。また、教育相談を毎学期実施し、生徒の不安や心配事等の心の状況を把握します。



## (5) いじめ事案に対する対応

- ①いじめを発見、通報を受けた場合、学校いじめ防止対策委員会に報告し、迅速に適切な初期対応を行い、早期解決を図ります。
- ②被害生徒を全面的に支え、守る姿勢で対応します。
- ③周囲の生徒からの聞き取りとともに、観衆的・傍観的立場に立つことが、いじめの助長につながることにについて、学級、学年、学校全体に指導します。
- ④学校だけで対応が難しい事案に対しては、四日市市教育委員会育ち支援課、こども家庭センター等と連携するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等を活用して解決を図ります。

## 2 いじめ防止のための校内組織

### (1) 校内組織

- ①「学校いじめ防止対策委員会」を設置します。構成員は、管理職、各学年代表、生徒指導主事、教育相談担当、養護教諭、スクールカウンセラーです。なお、必要に応じて、スクールソーシャルワーカーやコミュニティスクール運営協議会の参加を依頼します。
- ②いじめ防止対策委員会の主な活動は以下のとおりです。
  - ・「いじめ実態調査アンケート」及びQUの実施と結果に基づく対応策の協議
  - ・定期的な教育相談の実施の計画
  - ・いじめ防止、早期発見・早期対応、解決、再発防止等についての協議
- ③「生徒指導委員会」を定期的に行い、情報交換及び対応策や指導方法について協議します。

### (2) 学校関係者及び各種団体との連携

- ①学校は、平素から学校関係者及び地域の様々な方や団体と連携してきています。
  - ・PTA及び学校運営協議会（コミュニティスクール）
  - ・橋北こども園・橋北小学校・他の中学校
  - ・主任児童委員、民生委員、自治会、市民センター等
- ②警察や北勢児童相談所、こども家庭センター等の関係機関との連携を図ります。



## 3 保護者と生徒の役割

### (1) 保護者として

- ①保護者として、いじめに対する基本認識について共通理解し、学校と協力して、いじめをしない、させない指導をお願いします。
- ②どの生徒も、いじめの加害者にも被害者にもなりうることを意識し、いじめに加担しないよう指導に努め、また、日頃からいじめ被害など悩みがあった場合は、周囲の大人に相談するよう働きかけてください。
- ③生徒の使用するスマートフォン、携帯電話、携帯ゲーム機、パソコン等について、各家庭で使い方のルールをつくり、保護者が責任をもって守らせてください。また保護者は、生徒の使用する端末にフィルタリング機能を設定するよう義務付けられていることに留意してください。SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用する場合は、マナーやエチケットを守らせるよう日頃から指導をしてください。

### (2) 生徒として

- ①一人ひとりが、自己の夢を達成するため、何事にも精一杯取り組むとともに、他者に対しては思いやりの心を持ち、自らが主体的にいじめのない学校づくりに努めましょう。
- ②周囲にいじめがあると思われるときは、いじめを見過ごさず、当該の生徒に声をかけたり、周囲の人に積極的に相談したりして、いじめを許さない立場に立ち、行動しましょう。

## 4 重大事態発生時の対処

生徒の生命・心身又は財産に重大な被害がある、又は相当期間にわたり被害生徒が欠席を余儀なくされている疑いが認められたときなどの重大事案の対応については、次の点に留意しながら厳正に対応します。

- ①すみやかに四日市市教育委員会に事案発生の報告をするとともに、被害者の意向に配慮した上で警察や専門機関と相談して、適切に対応します。
- ②重大事態に係る調査にあたっては、当該の生徒及び保護者に必要な情報を適切に提供します。